

老朽化した防護柵の 取替ランク



RANK 1

RANK 2



RANK 3

社団法人 全国道路標識・標示業協会
愛知県協会 防護柵フェンス部会

<http://ansinmichiaichi.jp>

E-mail: zen-ai@syd.odn.ne.jp / TEL: (052) 241-4515

- 設置されてから20年以上経過した防護柵の多くは老朽化が著しく更新が必要となってきています。
- 当協会では安全管理の観点から危険度を目安に防護柵の取替ランクのご提案を作成いたしました。
- 危険度については写真でご判断いただくのが一番わかりやすいと考え参考写真を掲示させていただきました。厳密な取替ランクではありませんが目安としていただければ幸いです。

車両用ガードレール老朽化 取替ランク

● 錆により腐食した防護柵

至急取替
取替ランク

1

- ・ 錆がかなり進行し穴空きが見られる
- ・ 錆によって材料の肉厚に著しく変化が見られる（支柱地際）



要取替
取替ランク

2

- ・ 錆がかなり進行している（30%以上）



取替時期を考慮
取替ランク

3

- ・ 錆が進行している（30%以下）



●旧規格で危険なガードレール

1
至急取替
取替ランク

- ・旧タイプ（支柱径114.3未満のもの）
- ・アダプターによって嵩上げされている



2
要取替
取替ランク

- ・旧タイプ（レールが現基準と異なるもの）



●設置高の低いガードレール 基準値 H=600

1
至急取替
取替ランク

- ・設置高が基準値の-100mm以上



2
要取替
取替ランク

- ・設置高が基準値の-50mm~-100mm



●設置箇所に不適切なガードレール

1
至急取替
取替ランク

- ・交差点部に設置されている



3
取替時期を考慮
取替ランク

- ・歩車道分離に設置されている



種別		評価ランク	1 (至急取替)	2 (要取替)	3 (取替時期を考慮)
ガードレール	錆		・錆がかなり進行し穴空きが見られる ・錆によって材料の肉厚に著しく変化が見られる(支柱地際)	・錆がかなり進行している(30%以上)	・錆が進行している(30%以下)
	規格		・旧タイプ(支柱径114.3未満のもの) ・アダプターによって嵩上げされている	・旧タイプ (レールが現基準と異なるもの)	
	基準高		・設置高が基準値の-100mm以上	・設置高が基準値の-50mm~-100mm	
	設置箇所		・交差点部に設置されている		・歩車道分離に設置されている

車両用ガードパイプ老朽化 取替ランク

● 錆により腐食したガードパイプ

至急取替
取替ランク

1

- ・錆がかなり進行し穴空きが見られる
- ・錆によって材料の肉厚に著しく変化が見られる（支柱地際）



要取替
取替ランク

2

- ・錆がかなり進行している（30%以上）



取替時期を考慮
取替ランク

3

- ・錆が進行している（30%以下）



● 旧規格で危険なガードパイプ

至急取替
取替ランク

1

- ・旧タイプ（支柱径114.3未満のもの）



● 設置高の低いガードパイプ 基準値 H=600

至急取替
取替ランク

1

- ・設置高が基準値の-100mm以上



要取替
取替ランク

2

- ・設置高が基準値の-50mm~-100mm

評価ランク		1 (至急取替)	2 (要取替)	3 (取替時期を考慮)
ガードパイプ	錆	・錆がかなり進行し穴空きが見られる ・錆によって材料の肉厚に著しく変化が見られる（支柱地際）	・錆がかなり進行している（30%以上）	・錆が進行している（30%以下）
	規格	・旧タイプ（支柱径114.3未満のもの）		
	基準高	・設置高が基準値の-100mm以上	・設置高が基準値の-50mm~-100mm	

横断防止柵（P種）老朽化 取替ランク

● 錆により腐食した横断防止柵 ※接合部（ブラケット内）が腐食しやすい

至急取替
取替ランク

1

- ・錆がかなり進行し穴空きが見られる
- ・錆によって材料の肉厚に著しく変化が見られる（支柱地際）



要取替
取替ランク

2

- ・錆がかなり進行している（30%以上）



取替時期を考慮
取替ランク

3

- ・錆が進行している（30%以下）



● 設置高の低い横断防止柵 基準値 H=700~800

至急取替
取替ランク

1

- ・設置高が基準値の-100mm以上

要取替
取替ランク

2

- ・設置高が基準値の-50mm~-100mm



評価ランク		1 (至急取替)	2 (要取替)	3 (取替時期を考慮)
種別	錆	・錆がかなり進行し穴空きが見られる ・錆によって材料の肉厚に著しく変化が見られる（支柱地際）	・錆がかなり進行している（30%以上）	・錆が進行している（30%以下）
	基準高	・設置高が基準値の-100mm以上	・設置高が基準値の-50mm~-100mm	

転落防止柵（P種）老朽化 取替ランク

● 錆により腐食した転落防止柵 ※接合部（ブラケット内）が腐食しやすい

1
至急取替
取替ランク

- ・錆がかなり進行し穴空きが見られる
- ・錆によって材料の肉厚に著しく変化が見られる（支柱地際）



2
要取替
取替ランク

- ・錆がかなり進行している（30%以上）



3
取替時期を考慮
取替ランク

- ・錆が進行している（30%以下）



● 設置高の低い転落防止柵 基準値 H=1100

1
至急取替
取替ランク

- ・設置高が基準値の-100mm以上



2
要取替
取替ランク

- ・設置高が基準値の-50mm~-100mm



● 歩道の路外が危険な状況の転落防止柵

1
至急取替
取替ランク

- ・水路沿い（縦棧型へ）
- ・路肩勾配が垂直に近く路外の段差がH=1.0m以上あるとき（縦棧型へ）



2
要取替
取替ランク

- ・路外の段差がH=1.0m以上あるとき（縦棧型へ）
- ・通学路（縦棧型へ）



3
取替時期を考慮
取替ランク

- ・路外の段差がH=1.0m以下のとき（縦棧型へ）



評価ランク		1 (至急取替)	2 (要取替)	3 (取替時期を考慮)
種別	錆	・錆がかなり進行し穴空きが見られる ・錆によって材料の肉厚に著しく変化が見られる（支柱地際）	・錆がかなり進行している（30%以上）	・錆が進行している（30%以下）
	基準高	・設置高が基準値の-100mm以上	・設置高が基準値の-50mm~-100mm	
	歩道の路外の状況	・水路沿い（縦棧型へ） ・路肩勾配が垂直に近く路外の段差がH=1.0m以上あるとき（縦棧型へ）	・路外の段差がH=1.0m以上あるとき（縦棧型へ） ・通学路（縦棧型へ）	・路外の段差がH=1.0m以下のとき（縦棧型へ）

橋梁高欄 老朽化 取替ランク

● 錆により腐食した橋梁高欄

至急取替
取替ランク

1

- ・ 錆がかなり進行し穴空きが見られる
- ・ 錆によって材料の肉厚に著しく変化が見られる（支柱地際）



要取替
取替ランク

2

- ・ 錆がかなり進行している（30%以上）



取替時期を考慮
取替ランク

3

- ・ 錆が進行している（30%以下）



● 旧規格で危険な橋梁高欄

至急取替
取替ランク

1

- ・ 歩車道境界に車両用防護柵もしくはh250×w500の地覆コンクリートがなく、歩道部にアルミ製又は車両対応でない高欄が設置されている橋梁



● 設置高の低い橋梁高欄 基準値（歩道部）H=1100

至急取替
取替ランク

1

- ・ 設置高が基準値の-100mm以上



要取替
取替ランク

2

- ・ 設置高が基準値の-50mm~-100mm



評価ランク		1 (至急取替)	2 (要取替)	3 (取替時期を考慮)
高欄	錆	・ 錆がかなり進行し穴空きが見られる ・ 錆によって材料の肉厚に著しく変化が見られる（支柱地際）	・ 錆がかなり進行している（30%以上）	・ 錆が進行している（30%以下）
	規格	・ 歩車道境界に車両用防護柵もしくはh250×w500の地覆コンクリートがなく、歩道部にアルミ製又は車両対応でない高欄が設置されている橋梁		
	基準高	・ 設置高が基準値の-100mm以上	・ 設置高が基準値の-50mm~-100mm	

老朽化した防護柵 取替ランナー一覧表

評価ランク		1 (至急取替)	2 (要取替)	3 (取替時期を考慮)
種別				
ガードレール	錆	・錆がかなり進行し穴空きが見られる ・錆によって材料の肉厚に著しく変化が見られる(支柱地際)	・錆がかなり進行している(30%以上)	・錆が進行している(30%以下)
	規格	・旧タイプ(支柱径114.3未満のもの) ・アダプターによって嵩上げされている	・旧タイプ(レールが現基準と異なるもの)	
	基準高 H=600	・設置高が基準値の-100mm以上	・設置高が基準値の-50mm~-100mm	
	設置箇所	・交差点部に設置されている		・歩車道分離に設置されている
ガードパイプ	錆	・錆がかなり進行し穴空きが見られる ・錆によって材料の肉厚に著しく変化が見られる(支柱地際)	・錆がかなり進行している(30%以上)	・錆が進行している(30%以下)
	規格 H=600	・旧タイプ(支柱径114.3未満のもの)		
	基準高	・設置高が基準値の-100mm以上	・設置高が基準値の-50mm~-100mm	
横断防止柵	錆	・錆がかなり進行し穴空きが見られる ・錆によって材料の肉厚に著しく変化が見られる(支柱地際)	・錆がかなり進行している(30%以上)	・錆が進行している(30%以下)
	基準高 H=700~800	・設置高が基準値の-100mm以上	・設置高が基準値の-50mm~-100mm	
転落防止柵	錆	・錆がかなり進行し穴空きが見られる ・錆によって材料の肉厚に著しく変化が見られる(支柱地際)	・錆がかなり進行している(30%以上)	・錆が進行している(30%以下)
	基準高 H=1100	・設置高が基準値の-100mm以上	・設置高が基準値の-50mm~-100mm	
	歩道の路外の状況	・水路沿い(縦横型へ) ・路肩公配が垂直に近く路外の段差がH=1.0m以上あるとき(縦横型へ)	・路外の段差がH=1.0m以上あるとき(縦横型へ) ・通学路(縦横型へ)	・路外の段差がH=1.0m以下のとき(縦横型へ)
高欄	錆	・錆がかなり進行し穴空きが見られる ・錆によって材料の肉厚に著しく変化が見られる(支柱地際)	・錆がかなり進行している(30%以上)	・錆が進行している(30%以下)
	規格	・歩車道境界に車両用防護柵もしくはh250×w500の地覆コンクリートがなく、歩道部にアルミ製又は車両対応でない高欄が設置されている橋梁		
	基準高 H=1100	・設置高が基準値の-100mm以上	・設置高が基準値の-50mm~-100mm	

社団法人 全国道路標識・標示業協会 愛知県協会

〒460-0008 名古屋市中区栄5丁目19番31号 (T&Mビル2階)

TEL:(052) 241-4515 FAX:(052) 252-8156

E-mail:zen-ai@syd.odn.ne.jp URL http://www.ansinmichiaichi.jp